

第 25 回 原子力建築運営委員会 議事録

日 時：平成 28 年 5 月 26 日（木）15:00～17:00

場 所：日本建築学会 建築会館 202 会議室

出席者：(敬称略)

委員：北山（主査：首都大）、中川（幹事、中部電）、
瀧口（東工大）、橋高（首都大）、前田（東北大）、楠（東大）、菊地（東京電）、
伏見（関電）、梅木（中部電）、川里（原電）、斎藤（北海道電）、
尾形（東北電）、小竹（北陸電）、阿比留（中国電）、細川（四電）、
赤司（九電）、武井（電源開発）、棟方（原燃）、辻（原安進）、今塚（大林）、
兼近（鹿島）、三浦（清水）、小野（大成）、羽場崎（竹中 神地委員代理）

【下線は欠席者】

オブザーバー：和田（中部電）

- 資 料：25-0 第 25 回 原子力建築運営委員会議事次第
- 25-1 第 24 回 原子力建築運営委員会議事録（案）
 - 25-2-1① 2016 年度の原子力建築運営委員会の検討体制
 - 25-2-1② 2016 年度 原子力建築運営委員会 委員名簿（案）
 - 25-2-2① 第 43,44 回 原子力関連学協会規格類協議会概要
 - 25-2-2② 第 43 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録
 - 25-2-2③ 原子力総合シンポジウム「福島第一原発事故から 5 年経て」
 - 25-3-1-1 第 3 回原子力耐震性能評価小委員会 議事録（案）
 - 25-3-1-2 2016 年度 原子力耐震性能評価小委員会 耐震裕度評価 WG 年間スケジュール（案）
 - 25-3-1-3 2016 年度建築学会大会（九州）PD 原子力建築物の耐震裕度評価（案）
 - 25-3-1-4① 同上 主題解説論文 概要
 - 25-3-1-4① 同上 主旨説明
 - 25-3-1-4② 同上 耐震裕度評価の目指すもの
 - 25-3-1-4③ 同上 原子力発電所建築物の機能と性能
 - 25-3-1-4④ 同上 耐震裕度の評価方法・明示化方法
 - 25-3-1-4⑤ 同上 試評価事例
 - 25-3-2 2016 年度 原子力構造物維持管理小委員会 年間スケジュール（案）
 - 25-4① 新規課題抽出検討 WG（仮称）の設置について（案）

議 事：

1. 前回議事録の確認

中川幹事より資料 25-1 に基づき、第 24 回原子力建築運営委員会議事録（案）の説明があり、承認された。

2. 運営委員会の本年度活動について

中川幹事より資料 25-2-1①、②に基づき、2016 年度の検討体制および 2015 年度の委員名簿について説明があった。

梅木委員より資料 25-2-2②に基づき、第 43 回原子力関連学協会規格協議会議事録について紹介があった。

梅木委員より資料 25-2-2③に基づき、「日本学術会議シンポジウム：福島第一原発事故から 5 年を経て」について報告があった。

3. 各小委員会の本年度活動状況について

梅木委員より資料 25-3-1-1,25-3-1-2 に基づき、第 3 回原子力耐震性能評価小委員会議事録と 2016 年度 原子力耐震性能評価小委員会、耐震裕度評価 WG の年間スケジュールについて紹介があった。

梅木委員より資料 25-3-1-4④～⑤に基づき、2016 年度建築学会大会（九州）パネルディスカッションの内容について説明があった。

・耐震性能の裕度を示す指標は耐力かひずみか？

→基準となる地震動に対する限界地震動の強さの比率である。

和田ワザバより資料 24-3-2 に基づき、2016 年度 原子力構造物維持管理小委員会の年間スケジュールについて説明があった。

4. その他

梅木委員より他学会検討等への参画状況について説明があった。

・各 WG での成果の位置付けは？

→ 学術的に議論し成果をまとめていくことになる。

梅木委員より資料 25-4①に基づき、来年度 新規課題抽出検討 WG（仮称）の設置について提案があった。

→ 瀧口委員を主査、梅木委員を幹事とし、今年度から準備を進めることで了承された。

梅木委員より日本電気協会主催の「原子力規格委員会シンポジウム（2016/6/7）」について紹介があった。

次回の運営委員会は以下の予定で行う。

日時：2016 年 10 月 27 日（木） 15:00～17:00

場所：日本建築学会 会議室（予定）

以上